

パイロット育成で存在感 航空業界に人材を多数輩出

宗城大学

「学生の心に火をつけ
る」実学主義を掲げる崇城
大学（熊本市）は、工学部
宇宙航空システム工学科に
航空操縦学専攻を設置し、
毎年多数の卒業生をエアラ
インパイロットとして輩出
している。

今年も多くの卒業生を航
空業界に送り出している同
大だが、特に目を向けてお
きたいのは3月8日、同専
攻の4年生・安達航大さん
が公益社団法人日本航空機
操縦士協会（本部東京・港
区）の「会長奨励賞」を受

賞したことだ。

同賞は、日本で唯一のパ
イロット団体であり、航空
業界の技術向上を目的とし
ている同協会が定めてい
る。私立大学のパイロット
養成コースに所属し、知識
面および技術面、共に特に
優秀な成績を修めた学生を
表彰している。

同賞を受賞した安達さん
は、4月から大手航空会社
でパイロット訓練生として
勤務し、同大で学んだ知
識、技術を基に日々の業務
に従事している。

ることや大手エアラインの
ノウハウを導入した訓練、
元ベテランパイロットから
の指導にあるだろう。

同専攻は、14機に上る訓
練機を所有しており、熊本
空港に直結した空港キャン
パスを構えている。そし
て、全ての訓練施設が大学
所有となっている。

また、昨年9月には、エ
アライン関連企業に合格す
るための情報収集を目的と
して、OB・OGの現役パ
イロットと在学生の懇親会
がOB・OG主催で開催さ
れた。学生が直近の先輩か
らもフレッシュなアドバイ
スを受けることができ、合
格を目指し学業や訓練に励
む在学生にとって、貴重な
機会となった。

また、安達さんの双子の
弟・雄大さんも同大で同様
にパイロット訓練生として
別の大手航空会社に勤務す
ることが決まっている。航
大さんは「弟と共に切磋琢
磨し合いながら、入社後
も頑張っていきたいと思ひ
ます」と、希望に満ちあふ
れた表情で抱負を語った。

社会人や他大学の既卒

者、卒業予定者が研究生と
して入学し直すほど、エア
ラインパイロットに向けて
の間口の広い教育に定評の
ある崇城大。同大の堅実な
教育に今後も期待が寄せら
れている。



高度な知識、技術を駆使
した活躍が期待される

充実した環境を備え、堅
実な教育を提供する